

2023

第9回

これからの
建築士の
取り組み募集中
応募締切
8月31日(木)

これからの建築士賞

「建築士」は日本の都市と建築にかかわる重要な職能資格であり、設計監理、施工、行政、教育、まちづくり、発注者など幅広い業務に携わりながら、未来につながる社会の実現のため努力してきました。近年では防災、環境、高齢化と人口減少、歴史文化の喪失など多くの課題の中で、その専門的な知見を生かしながら、魅力的な社会、街並み、建築空間の実現を目指して活動しています。

なかでも最近では他の建築関係の会とも連携し、それぞれの地域をベースにした協働も盛んになってきており、これらの新たな活動が大きな波となって地域社会の未来に力となる事も期待されています。多様な分野における建築士ならではの新しい動きに光を当て、顕彰し、支援するとともに広く世の中に伝えようとするのが「これからの建築士賞」の目的です。

募集要項

1. 賞の対象

都市と建築に関わる近年の活動や業績で、設計監理、施工、行政、教育、まちづくり、発注など建築士としての多様な立場を通じて行った未来につながる社会貢献に対して、その活動・業績を担った建築士もしくはそのグループを顕彰する。

未来につながる社会貢献とは、たとえば、美しい景観の形成、安全で魅力的なまちづくりや空間の提案、自然環境や歴史的環境の保全、地球温暖化・人口減少・高齢化社会に対する提案、弱者に対する対策、文化・にぎわい・コミュニティの創出、建築に関する啓蒙・普及など多様であるが、さらに、これからの建築士の仕事を開拓するような、従来の建築士の枠を拡げる活動の応募も大いに期待したい。

2. 名称及び受賞数

これからの建築士賞 10点程度(但し、応募点数による)

3. 応募資格

原則として建築士もしくは建築士を含むグループで、活動のベースが首都圏にあること。

過去の応募者の再応募は可とする。

審査員が直接係った案件は応募対象から除外される。また審査員が所属する事務所、グループが審査対象となる場合は、その案件に係る一切の審査から外れるものとする。

4. 応募方法

別紙候補推薦書に記入の上、必要に応じて参考資料を A4 用紙 3 枚以内にまとめて、事務局まで提出のこと。関係資料は返却されないものとする。郵送、メールによるデータの送付も可能。候補推薦書は東京建築士会ホームページからダウンロード可能(<https://tokyokenchikushikai.or.jp/award/pdf/kform.pdf>)。

自薦、他薦を問わない。

5. 審査員

石川 初(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

加藤 耕一(東京大学 大学院工学系研究科 建築学専攻 教授)

高井 啓明(株式会社 竹中工務店 設計本部 プリンシパルエンジニア)

西田 司(オンデザイン代表 / 東京理科大学准教授)

6. 審査・顕彰

6月上旬 公告

8月31日 応募書類提出締切

9月下旬 審査会

2024年6月上旬 東京建築士会総会の席上で顕彰予定

7. 発表・その他

受賞者の活動資料を上記総会時に配布します(活動資料は A4 版、受賞者が作成するが、場合によっては推薦者が協力する)

受賞者及びその活動資料については本会会誌、ホームページに講評とともに掲載するほか、各メディアに公表予定。

※後日、審査員と受賞者によるプレゼンテーションの機会を準備する予定。

8. 応募締切

2023年8月31日(木)必着

応募書類は、下記のメールまたは郵送にて提出ください。

郵送の場合は、8月31日の消印有効。

9. 応募書類提出先・お問合せ先

一般社団法人 東京建築士会 「これからの建築士賞」係

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 11-1 富沢町 111 ビル 5 階

TEL : 03-3527-3100 FAX : 03-3527-3101

E-Mail : event02@tokyokenchikushikai.or.jp

<https://www.tokyokenchikushikai.or.jp/>

これからの建築士 一職能を拓ける 17 の取り組み

話題の書籍

建築への信頼が問われる今、変わるべきは 100 万人の<建築士>の職能だ!

第1回これからの建築士賞審査結果を紹介した『これからの建築士一職能を拓ける 17 の取り組み』(編著: 倉方俊輔、吉良森子、中村勉 協力: 東京建築士会)が出版されました。この賞の内容が詳しく掲載されています。

全国の書店・ネット書店で販売

定価: 2,530 円(税込)
発行: 学芸出版社

<http://www.gakugei-pub.jp/>

